

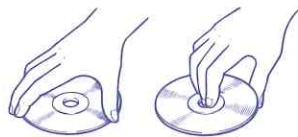


アドバイス

- 本機には下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタル オーディオ ディスク）をご使用ください。



- ディスクを持つときは、信号面をさわらないようにしてください。両端をはさむようにしてつか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



- ディスクは本機内部で高速回転しますので異常なディスク（ハート型など異形のディスク、ヒビが入ったディスクや大きくそったディスク）は使用しないでください。



- ラベル面（曲目印刷面）にも紙やシールなどを貼付けたり、キズなどを付けないようにしてください。
- ディスクに指紋やホコリが付いた場合でもディスクに記録された信号には直接影響しませんが、汚れにより信号記録面からの反射光の明るさが低減して音質が低下したり、音飛びを起こす場合があります。ディスクが汚れたときは、柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

アドバイス

- レコード スプレー、帯電防止剤などは使用できません。またベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。



- ディスクは従来のオーディオ レコードと同様にプラスチック製です。そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- 真夏や真冬は、車内の温度が極端に変化していますので、車内を適温にしてご使用ください。
- ディスク差し込み口に、ディスク以外のものを入れたり、磁石やドライバー等を絶対に近づけたりしないでください。
- 振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。直射日光などの影響によってソリの原因となります。ディスクは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 8cm CDをイジェクト状態のまま走行しないでください。走行中の振動によりディスクが落下することがあります。
- 真冬の車内は極度に冷えています。この状態でヒーターを入れて、すぐに本機を使用するとディスクや光学部品（プリズムやレンズなど）が曇って正常な演奏をおこなえないことがあります。ディスクが曇っているときは、柔らかい布で拭いて下さい。光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておけば自然に曇りがとれ正常に作動します。



アドバイス

- 本機の内部温度が基準以上の高温になると半導体レーザー部の劣化を保護するために、自動的に演奏をストップさせます。このときディスプレイ部は“HEAT”を点灯し、温度上昇を知らせます。この状態のときは温度が下がるまでお待ちください。

■時計を非表示にするには■

○時計表示をモード表示に切り替えるには

通常は時計表示になっています。オーディオ動作中に、そのモードを表示するか時刻を表示するかを選択することができます。



エンジン スイッチを“ACC”にし、本機の電源を“OFF”にします。選局 (4) ボタンを押しながら、チューニング ボタンの△側を押します。時計表示に戻すときは、再度同じ操作を繰り返します。

○モード表示中に時刻を確認するには



モード表示中に、AM/FM切り替えボタンを約2秒以上押します。



■時刻を合わせるには■



○「時」を合わせるには

時計表示時に、AM/FM切り替えボタンを押しながら「時」調整ボタンを押します。

- ボタンを押すたびに数字が1つずつ大きくなります。
- ボタンを押し続けると連続して数字が大きくなります。

○「分」を合わせるには

時計表示時に、AM/FM切り替えボタンを押しながら「分」調整ボタンを押します。

- ボタンを押すたびに数字が1つずつ大きくなります。
- ボタンを押し続けると連続して数字が大きくなります。

○分を「00」にするには

時計表示時に、AM/FM切り替えボタンを押しながら時刻合わせボタンを押します。

アドバイス

- 分を「00」にする際、現在の「分」によって「時」の数字が異なります。
30分未満のとき：現行のまま
30分以上のとき：数字が1つ増える
例えば、10:20は「10:00」 10:45は「11:00」となります。

AM/FM付CDステレオ

⚠ 注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお楽しみください。大きな音量で鳴らすと車外の音が聞こえず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にオーディオの操作をしないでください。運転のさまたげになり思わぬ事故につながります。

📖 アドバイス

- オーディオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うとノイズ（雑音）が入ることがあります。

■各部の名称■

